

痛くないスプレー式インフルエンザワクチン

「フルミスト」について

石場こどもクリニック院長

今までインフルエンザ予防に対して、注射によるインフルエンザワクチンのみでしたが、2024年秋よりスプレー式の噴霧にするインフルエンザワクチンが開始されました。

最大の強みは注射による痛みがなくなることです。欧米では10年以上実用化されているもので、安全性・有効性が確立されています。

① フルミストのできる方

2歳～18歳まで

② フルミストの特長

- 1 注射でなく鼻に噴霧するワクチン
(痛みがなく注射の恐怖がない)
- 2 インフルエンザの自然感染と同じ経路(上気道粘膜)で免疫を作る
- 3 ワクチンの効果は1年近く持続します
- 4 フルミストは年齢に関係なく1回接種

③ フルミストとインフルエンザ注射の違い

	フルミスト	注射ワクチン
接種方法	鼻へ噴霧	皮下注射
痛み	無し	あり
対象年齢	2～18歳	生後6か月以上
接種回数	1回	13歳未満は2回
ワクチン	生ワクチン (弱毒性)	不活化ワクチン
妊婦への接種	できない	できる
鼻・のどへのインフルエンザの感染の予防効果	高い	ない
接種後の咽頭からのインフルエンザウイルスの検出	接種後7日ほど検出できる	検出できない
効果	1年	5～6か月
できる抗体	IgG抗体(血液中) 分泌型IgA抗体 (上気道粘膜)	IgG抗体(血液中)のみ

④ フルミストのおすすめの人は

- 1 注射が苦手な方
(鼻にスプレーするだけ)
- 2 注射すると腫れやすい方
- 3 毎年インフルエンザにかかりやすい方
- 4 受験生や運動をしている方
(受験や試合がある方に効果が高い)

⑤ フルミストの接種ができない方

- 1 2歳未満の方、19歳以上の方
- 2 免疫機能の異常のある方。免疫抑制剤・副腎皮質ホルモンの治療を受けている方。免疫力が著しく低下している方と同居の方
- 3 最近1年以内に喘息発作のあった方
- 4 鶏卵アレルギーやその他のワクチンに対してアレルギーのある方
- 5 ゼラチンアレルギーのある方
- 6 アスピリンまたはその類似薬を長期に服用している方
- 7 妊娠している方
- 8 慢性疾患（心臓、呼吸器、腎臓、肝臓、血液、神経疾患）があり、治療中の方
- 9 4週間以内に抗インフルエンザ薬（タミフル、ゾフルーザ、リレンザ、イナビル、ラビアクタなど）の投与を受けた方

⑥ フルミストを受ける時に相談していただきたい方

鼻汁が多い時期の接種はワクチンが流れて免疫が付きにくいことが考えられるので、その時期は避けてください。

⑦ フルミストの副反応

- 1 ワクチン接種後にくしゃみが出たり、のどに垂れることがありますが、飲み込んでも構いません。
- 2 接種して半数近くは鼻汁・鼻閉があります。他に、咳・咽頭痛などの感冒症状を伴うこともあります。発熱は数%です。
- 3 まれに、注射によるインフルエンザワクチンと同様にアレルギーなど、その他の副反応が発生する可能性もあります。

⑧ フルミスト接種後の注意

- 1 接種当日は過激な運動は避けてください。入浴はできます。
- 2 ワクチン接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全症の方との接触は避けてください。フルミストは弱毒性インフルエンザワクチンです。飛沫や接触でワクチンウイルスの水平伝播の可能性あります。

⑨ フルミストご希望の方へ

価格 : 8,500 円
対象年齢 : 2歳以上18歳まで
接種回数 : 1回